

聖学院大学総合研究所 アクティブ・ラーニング研究会 FD・SD 委員会 共催  
 2019 年度第 2 回アクティブ・ラーニング研究会  
 「アクティブ・ラーニングと可視化：本学の取組み」



第 2 部報告者：渡辺正人教授

2020年2月19日（水）、本学上尾キャンパス教授会室にて、2019年度第2回アクティブ・ラーニング研究会（FD・SD委員会共催）が開催された。参加者は本学の教職員を合わせて19名であった。

本会は二つの内容から構成され、第一部では「ALによる学修活動の可視化についての理解を深める」をテーマにして、昨年度に行われた稲葉興己氏（玉川大学教学部長）による本研究会での講演を映像で振り返った。この内容に関しては、すでに『聖学院大学総合研究所NEWS LETTER』（vol.28, No. 2、2018年、61-62頁）においてその概要をまとめているので、そちらを参照されたい。

この振り返りをもとにして、第二部では渡邊正人教授（本研究会副代表・本学学長補佐）が登場され、「可視化への本学の取組み」をテーマにしてこれから本学が進もうとしている方向性の解説がなされた。本学では次年度より学修ポートフォリオの導入が決定しており、それによって学生が自分自身でカリキュラムと身につけるべき「学士力」を結び付けて把握することが可能になる。しかしながらここでは、(コモン)ルーブリックの作成・導入や、卒業認定方針との整合性、そしてカリキュラムマップの再検討の必要性など、今後の課題が同時に指摘された。

本会では、「アクティブ・ラーニング」という教育方法論の研究に留まるのではなく、それが形式的なコンテンツ中心の教育から、実質的に「学士力」（コンピテンシー）の育成にとっていかなる有効性をもち得るのかという、さらに歩を進めた視点を共有する有意義な場となった。そしてそれは次年度以降に、本研究会の中心的なテーマとして引き続き検討されていくことになるであろう。

（報告者：齊藤 伸 [さいとう・しん] 聖学院大学基礎総合教区部特任助手）

## 新刊のご案内

聖学院大学出版会

### 世界社会の宗教的コミュニケーション — 共鳴の醸成

土方透 編著

G・ヴェグナー、J・ヴァイス、N・ルーマン、清水正之 著

2020年3月10日 3,200円（税別）ISBN：978-4-909891-04-4 C3036

さまざまな価値体系が同時に存在し、そのなかで人々がうごめく世界社会。誰もが共存を欲し、しかし自己の優越性は疑わない。果たして共鳴は可能か。宗教が拓く世界社会のコミュニケーションを論ずる。

